

●製鐵業調査會議(前號の續き)

製鐵調査の結末 製鐵調査會第一及び第二部委員會は既に答申案を作製し、本會議の開會を待つて報告する筈なるか第三及び第四部は未だ委員會の答申案作成の運びに至らず委員中製鐵所視察に赴ける者の歸京を待ちて、來る二十三日引續き第三及び第四部特別委員會を開く筈也、但し第三部は官營製鐵所處分問題に觸れ、又た第四部は製鐵業獎勵上執るべき方策如何の問題にして、孰れも時局に關係深きだけ議論百出すべく、製鐵所の一部拂下は官業整理委員會と相俟つて或は實現するに至るやも知るへからず、尙ほ第四部に於ては、鋼鐵の種類標準を、國家的に定めんとの意見多きを以て、之れ亦た輿論の如く決定すへしと云へり

第十九日(六月廿三日)

▲製鐵業調査會は廿三日午後一時半より農商務省會議室に於て開會先づ法學博士松岡均平氏の獨逸に於ける製鐵業シンジケートに就き約二時間に亘る詳細の演説あり其要は獨逸に於ける製鐵業シンジケートは尙ほ未だ完結したるものに非ざるも効績の偉大なるものありと言ふに在り右演説の後第四部製鐵業の發達を促すに必要な事項に付き協議したるも決定を見ず午後五時散會したり因みに第三部官民製鐵事業の調和に關する事項の委員會は來る廿六日午後一時半より開會の筈也

第二十日(六月廿六日)

▲製鐵業調査會は廿六日午後一時半より農商務省に於て第三、第四の兩部特別小委員會を開き中村第三、高崎第四の兩委員長以下各委員并に關係當局者出席前同に引續き第三諮問案「官民製鐵事業の調和に關する事項」及同第四案「製鐵業の發達を促すに必要な事項」に付協議する處あり同四時半散會せり

●製鐵調査總會期

農商務省に於ける製鐵業調

査會は第一より第四に至る諮問事項の各委員會既に終了せるを以て來る二十九日午後一時半より同省に本會議を開催

し各委員長より特別委員會に於ける經過を報告し最後の決定を爲す由因に福井委員の提出に係る鐵鋼品別調査の件は目下材料蒐集各方面に亘りて調査中なれば本會議には提出せられざるへしと

第二十一日(六月廿九日)

▲製鐵業調査會本會議は廿九日午後二時より農商務省會議室に於て開會、委員全部出席本省よりは河野農相、上山次官、機部鑛山局長等列席、河野農相議長席に就き議事に入り諮問第三「官民製鐵事業の調和に關する事項」同第四「製鐵業の發達を促すに必要な事項」に關し中村高崎兩委員長より特別委員會の經過を報告する處あり夫々審議を重ね同五時散會せり

●製鐵調査會經過

農商務省に於ける製鐵調査會は

二十九日本會議を開催し農商務省諮問第三第四に對する特別委員會の決議に基き討議の末大體に於て全部の終了を見たれば近く今日までの分を農商務大臣に答申する筈なり尙

一、標準規格の制定に關する事項

一、現在及將來需要さるる鐵鋼の品別調査の件
其他二三重要事項は尙研究を繼續するとなり標準規格制定に關する件に就ては河野會長より福田(委員長)寺野、服部、香村、阪田、島、島川の諸氏を指名し七月一日午前十時より該委員會を開會する筈なり。

第二十二日(七月一日)

▲製鐵業調査會委員會は一日午前十時農商務省に開會福田委員長以下委員全部出席標準規格制定に關する事項に就き協議し正午散會したり因に製鐵調査會各種委員會は尙各方面に亘る材料を蒐集して調査研究する必要があるを以て之が材料蒐集の爲め當分休會とし來八月下旬若くは九月初旬より再び委員會を開會すへしと云ふ